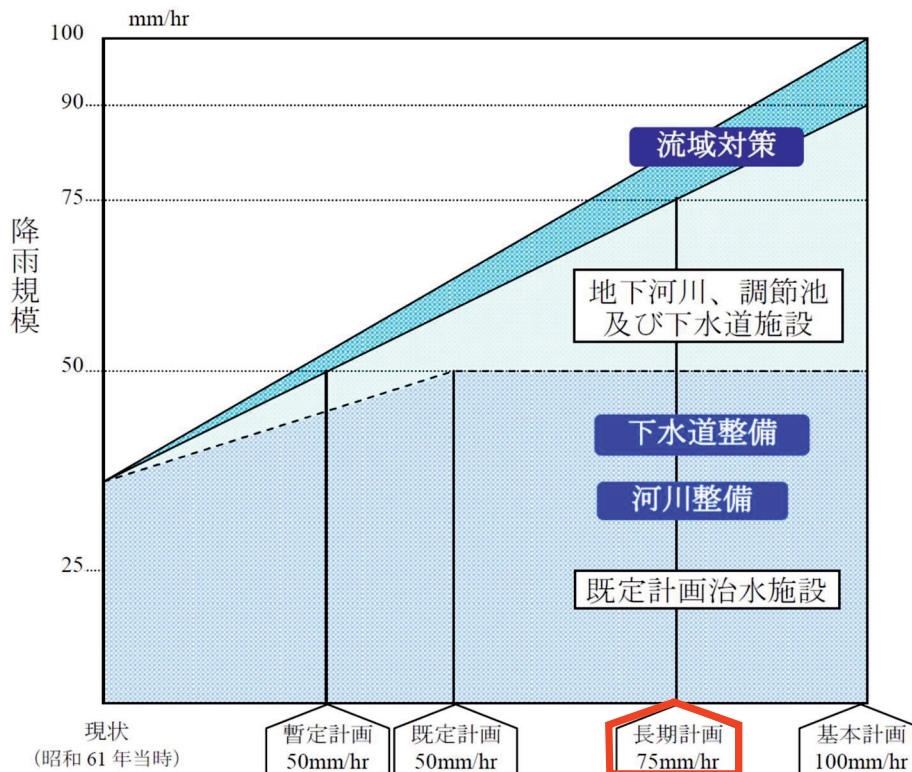


## 第3章 今後の浸水対策

### 1 目標整備水準

下水道局では、1時間50ミリ降雨への対応を基本に、早期に浸水被害を軽減するため、浸水の危険性が高い地区を重点化して施設整備を推進している。2021(令和3)年度末までに、重点化57地区のうち28地区が完了、20地区で事業中であり、残り9地区についても「経営計画2021」の計画期間である2025(令和7)年度までに着手することとしており、1時間50ミリ降雨への対応は相当な進展が見込まれる。

しかし、その一方で、全国的な豪雨の激甚化・頻発化や、気候変動の影響による将来の降雨量の増加が報告されるなど、浸水対策の更なる強化が求められており、今後は、「61答申」に示される長期計画、1時間75ミリ降雨を目標とし、下水道施設の整備を推進する(図表3-1)。



図表 3-1 「61答申」に示されている4つの目標治水水準に加筆

出典：「東京都豪雨対策基本方針」

## 2 重点地区の選定方法

限られた人的資源、財源で、必要な浸水対策を効率的に進めていくためには、浸水の危険性が高い地区を優先的に整備する地区として選定し、幹線や貯留施設などの整備を重点化する必要がある。

重点地区は、これまでは過去に大きな浸水被害が発生した地区を中心に選定してきたが、これからは浸水実績に加えて、事前防災の観点も踏まえることとし、下記に示す選定項目から優先度を考慮し選定する。

### ①浸水実績

下水道施設の能力不足により、実際に甚大な浸水被害が発生している地区については、整備を重点的に進める必要がある。

近年発生している浸水被害の実績（浸水棟数）から、顕在化している浸水リスクを評価する。

### ②流出解析シミュレーションの結果

実際の降雨は地域に一様に降ることはなく、降雨状況の偏りに応じて浸水被害の発生する場所も偏りが生じ、浸水実績だけでは地域の浸水危険度を正確に把握することが難しい。これに対し、流出解析シミュレーションを活用することで、実際に浸水被害が発生しなくても、一定の条件における浸水に対する危険性を評価することが可能となり、事前防災の観点から対策を講じることができる（図表3-2）。

そこで、現在整備している下水道施設が完成した状況をモデル化した、1時間75ミリ降雨の流出解析シミュレーションを実施し、その結果から得られる浸水面積、浸水深さから浸水リスクを評価する。



図表 3-2 1時間75ミリの流出解析シミュレーションイメージ

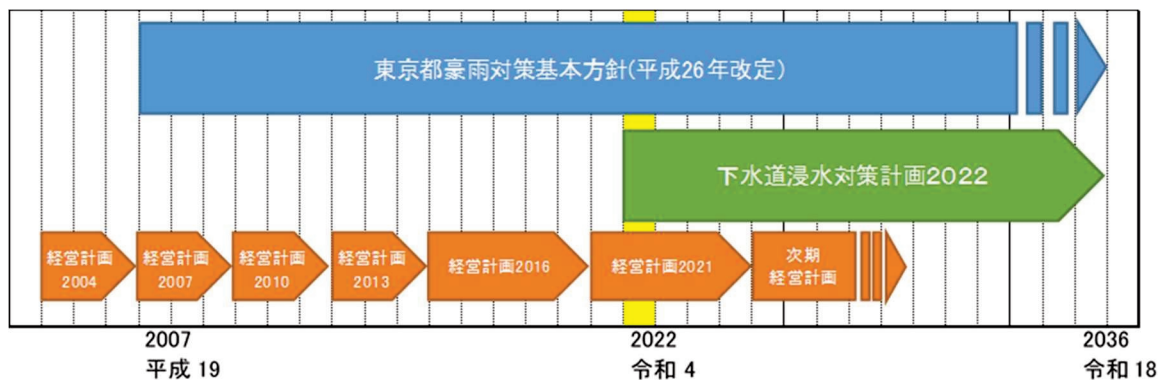
## 第4章 新たな重点地区の選定

### 1 計画期間

下水道の浸水対策は、事業用地の確保や対外調整、下水道管布設ルート of 検討など、事業着手まで長期間を要する。

事業を円滑に進めるためには、長期的な視点で検討していくことが重要であり、本計画の計画期間を15年（2022（令和4）年度から2036（令和18）年度まで）とし、新たな重点地区を選定する。

検討の熟度にあわせて、3～5年間の事業計画である「経営計画」に重点地区を位置付け、事業を推進していく。

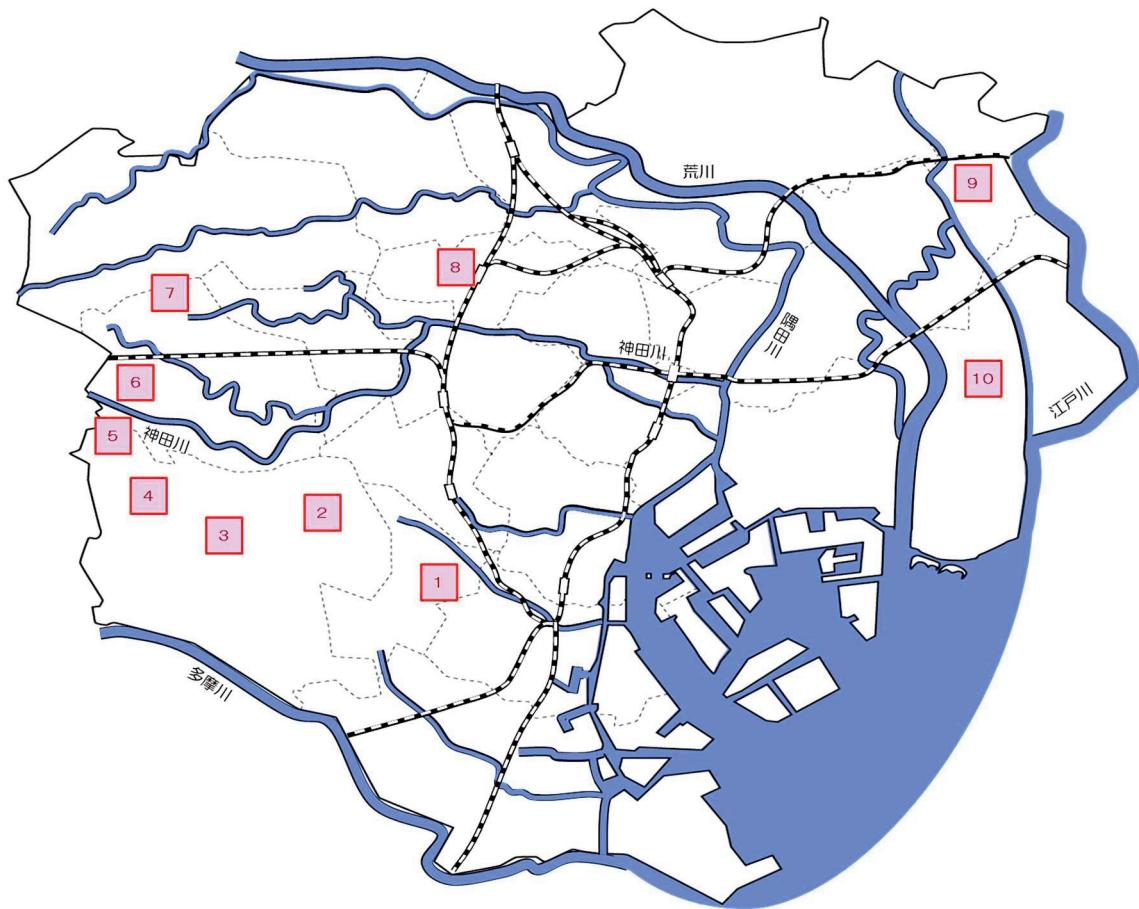


図表 4-1 計画の位置付け

## 2 新たな重点地区

1時間75ミリ降雨に対応する下水道整備を推進する新たな重点地区を10地区選定した(図表4-2)。

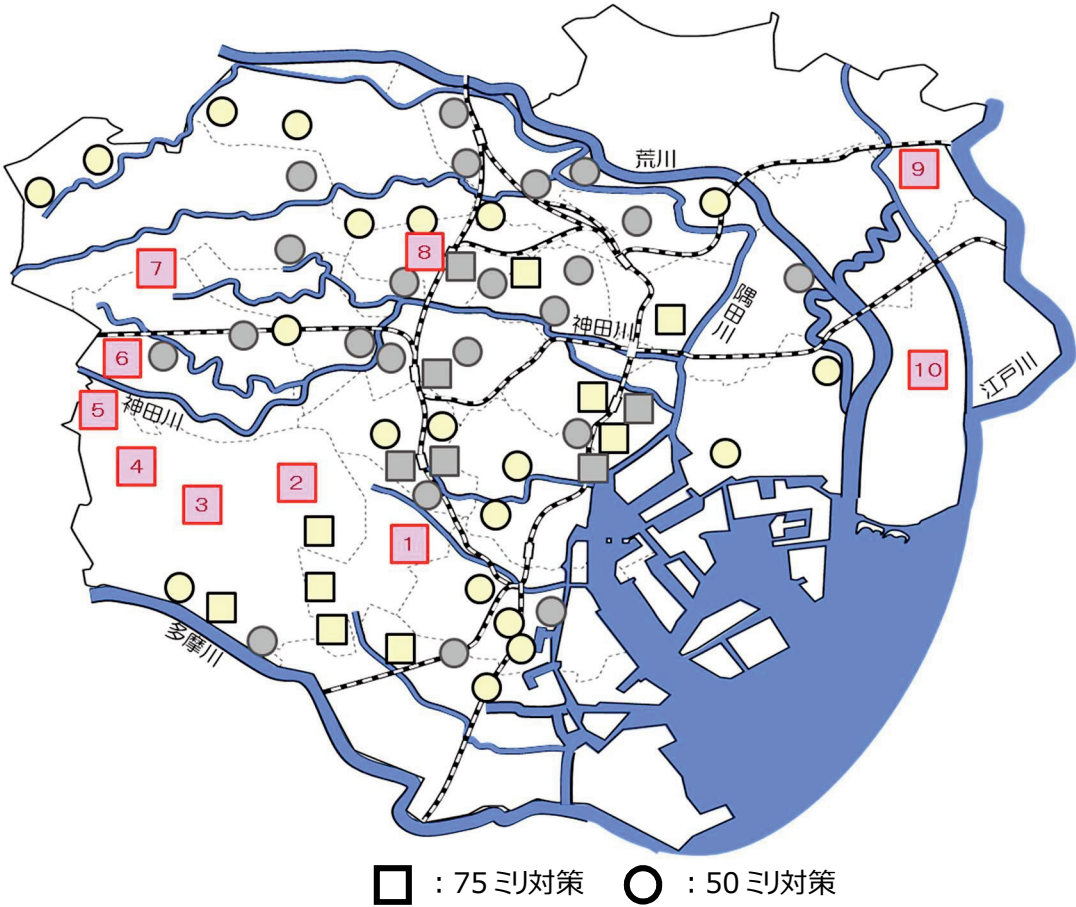
選定地区においては、地元区や関係機関と連携しながら、事業用地の確保や対外調整等、順次事業化に向けた検討を進める。



図表 4-2 新たな重点地区

①	目黒区下目黒
浸水被害が発生しており、流出解析シミュレーションにおいても、主に羅漢寺川幹線沿いの低地部において床上相当の浸水がまとまって発生している。	
②	世田谷区代沢
浸水被害が発生しており、流出解析シミュレーションにおいても、主に北沢幹線沿いの低地部において床上相当の浸水がまとまって発生している。	
③	世田谷区八幡山
浸水被害が発生しており、流出解析シミュレーションにおいても、主に烏山幹線沿いの低地部において床上相当の浸水がまとまって発生している。	
④	世田谷区南烏山
浸水被害が発生しており、流出解析シミュレーションにおいても、主に烏山北幹線沿いの低地部において床上相当の浸水がまとまって発生している。	
⑤	杉並区久我山
浸水被害が発生しており、流出解析シミュレーションにおいても、主に神田川沿いの低地部において床上相当の浸水がまとまって発生している。	
⑥	杉並区西荻南
浸水被害が発生しており、流出解析シミュレーションにおいても、主に大宮前幹線沿いの低地部において床上相当の浸水がまとまって発生している。	
⑦	杉並区井草
浸水被害が発生しており、流出解析シミュレーションにおいても、主にくぼ地、坂下などの低地部において床上相当の浸水がまとまって発生している。	
⑧	豊島区池袋本町
浸水被害が発生しており、流出解析シミュレーションにおいても、主にくぼ地、坂下などの低地部において床上相当の浸水がまとまって発生している。	
⑨	葛飾区金町
浸水被害が発生しており、流出解析シミュレーションにおいても、床上相当の浸水がまとまって発生している。	
⑩	江戸川区中央
浸水被害が発生しており、流出解析シミュレーションにおいても、床上相当の浸水が発生している。	

これまでに重点化した57地区と新たに追加した10地区は、下記のとおりである。



新たに追加する重点地区		10地区
対象地区名		
1	目黒区下目黒	
2	世田谷区代沢	
3	世田谷区八幡山	
4	世田谷区南烏山	
5	杉並区久我山	
6	杉並区西荻南	
7	杉並区井草	
8	豊島区池袋本町	
9	葛飾区金町	
10	江戸川区中央	
○ □	事業中または未着手の地区 (R3年度末時点)	29地区
● ■	完了した地区 (R3年度末時点)	28地区
合計		67地区

図表 4-3 重点化した地区の一覧